

【商第07053号】  
地場産業活性化交流プラザA棟外構工事

令和 7 年 9 月

発 注 高 知 県 香 南 市

実 施 設 計 株式会社ASA設計事務所

## 図面リスト

[illegible]

特記仕様書

Ⅰ 工事概要

1. 工事場所

高知県香南市須崎町千切ヤ・シバーク内

2. 敷地面積

3. 工事種目

・新築・増築・改築・移転・用途変更・大規模の修繕・大規模の模様替○法定外改修（屋外土間）

4. 構造概要

・RC・SRC・S・PC○W・耐火・ロ準耐-2（支店）○その他

5. 階数・面積等

改修対象土間面積82.30㎡

6. 工事期間

令和7年月契約日～令和8年月契約工期迄

7. 用途地域

・第1種低層住専・第2種低層住専・第1種中層住専・第2種中層住専・第1種住居  
・第2種住居・準住居・近隣商業・商業・準工業・工業・工業専用○指定なし（区域区分非設定）  
・市街化調整・角地の適用（・有・無）

8. その他地域・地区

・宅地造成規制区域・急傾斜地崩壊危険区域・農振地域・臨港地区・駐車場整備地区・駐輪場整備区域  
・し尿浄化槽放流規制区域・区画整理事業区域・都市計画施設（）・開発区域○指定なし  
・埋蔵文化財包蔵地（・遺跡・指定なし）※高知県条例による調査（・事前調査・詳細調査・調査済み）

9. 防火地域

・防火地域・準防火地域・法22条指定区域○指定なし

10. 排水とその処理

・河川放流（海、沼沱）○下水放流・合併処理・単独処理

11. 発注方式

○一括・分離（・建築主体工事・電気設備工事・機械設備工事）（）

12. 別途工事

・電気設備工事・機械設備工事・昇降機設備工事・太陽光発電設備工事・自家発電機設備工事

Ⅱ 建築工事仕様

1. 図面及び特記事項に記載されていない事項は、全て国土交通大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（令和4年版）」、「公共建築改修工事標準仕様書（令和4年版）」及び工事請負契約書による。

2. 特記仕様

1）項目は、番号に○印のついたものを適用する。

2）特記事項は、○印のついたものを適用する。  
○印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。  
○印と※印のついた場合は、共に適用する。

3）特記事項に記載の（）内表示番号は、「公共建築工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

4）材料及び製造所の記載順序は、不同である。

5）図面及び特記事項等に記載されている事項が相違する場合は、基本的に監督員の指示による。工事受注に際し、設計内訳書（項目のみの場合も含む）の参考添付が有る場合は、明細書の各項目は全て本工事に含む。  
一般的な優先順位は以下のとおりである。

1. 現場説明書及び現場説明に対する質疑回答書

2. 仕様書特記事項

2. 図面記載の特記事項

2. 図面の文字及び数値

2. 図面

3. 公共建築工事標準仕様書（令和4年版）、公共建築改修工事標準仕様書（令和4年版）

6）構造特記仕様書（標準図等を含む）が添付されている場合は、3土工事～7鉄骨工事までは、構造特記仕様書を優先する。  
なお、床下防湿層、仕上の種類等、意匠に関わる要素その他は本仕様書を併せて参照する。

章項目

④発生材の処理

産業廃棄物の運搬、処分等については、1.3.8により適切に処分するものとし、事前に監督職員に処理計画書を提出する。産業廃棄物の運搬或いは処分を他業者に委託する場合は、本工事についての書面による委託契約を行ない、処理計画書にその写しを添付する。  
自己処分場で処分する場合は、その処分場が関係法令の規定に適合する旨の資料を提出し、監督職員の現地立会を受けたうえで承諾を得る。（積替・保管についても同様とする）  
産業廃棄物の収集・運搬に当たっては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下廃掃法）施行令に基づく車輛への表示及び書面の備え付けを行うこと。  
また、産業廃棄物及び建設発生土を搬出する全車両（台数）について、現場搬出時及び処分場到着時の各々につき1枚以上の写真を撮影し、随時監督職員に報告する。  
（工事名、日付、車両ナンバー、該当車両のその日の回数等を記入した黒板を入れて撮影する）  
廃掃法を厳守し、工期内に最終処分（埋立処分・海洋投入処分または再生）を終了しなければならない。また、産業廃棄物管理票（マニフェスト）により、適正に処理されていることを確認するとともに、監督職員にE票の写しを提出しなければならない。但し、廃掃法を厳守したうえで工期内に産業廃棄物の最終処分を終了することが困難な場合、監督員が認める場合においては、工期内に中間処理業者への搬入が終了すればよいものとするが、最終処分終了後、速やかに監督職員にその旨を報告しなければならない。その場合は産業廃棄物管理票（マニフェスト）により、適正に中間処理業者に搬入されていることを確認するとともに、監督職員にそのB票の写しを提出しなければならない。  
尚、廃掃法に定める電子情報処理組織を使用する場合は別途協議する。  
・引き渡しを要するもの（）（1.3.8）  
・現場再利用を図るもの（）  
○再資源化を図るもの（○コンクリート○コンクリート及び鉄から成る建設資材・建設発生土  
○木材・アスファルトコンクリート・廃石膏ボード等は原則分別再利用処理とする。）  
・特別管理産業廃棄物の処理方法（・）

⑤再生資源利用（促進）計画書及び実施書の提出

再生資源利用（促進）計画書および実施書の提出は以下による。  
ア）建設資材の利用量の大小や有無に関わらず、再生資源利用計画書および実施書を「建設リサイクルデータ統合システム」により作成する。作成したデータは「建設リサイクルガイドライン」の「様式1」により、紙に出力したものを完成資料として提出すること。  
イ）建設副産物の発生量及び搬出物の大小や有無に関わらず、再生資源利用計画書および実施書を「建設リサイクルデータ統合システム」により作成する。作成したデータは「建設リサイクルガイドライン」の「様式2」により、紙に出力したものを完成資料として提出すること。  
ウ）これ等の提出時には、作成したデータを電子媒体に保存したものと併せて提出することとし、建設リサイクル法第18条に基づく書類の提出が必要な場合は、再生資源利用（促進）実施書の提出をもって、それに代わるものとする。  
エ）請負者は作成したデータを含め、再生資源利用（促進）計画書及び実施書を工事完成後1年間保存すること。  
オ）以上のことが行い難い場合は、監督員にその旨を書面で報告し、監督員の指示に従うこと。

⑥工事週報・月報

工事の全般的な経過及び次週・次月の工事予定を記載した報告書（出来高曲線入）を監督職員に提出する。（1.2.4）  
それらには、工事の経過が明確に解る写真を添付する。写真付き報告書は（2）部提出。

⑦工事写真

工事写真はE版とし、工事の内容、日付等必要事項を記入し（2）部提出する。（A4版台紙）  
工事写真の撮影方法は国土交通大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方、（改訂第2版）建築編」による。  
検査時はネガ共に提出のこと。

⑧工事日報

着工日から完成日まで工事内容、材料、機材、作業員出役状況、打合せ事項、監督員の指示事項、検査必要事項等を記入のうえ1部提出する。なお、造作大工、鉄筋工、型枠大工等は工場加工人役も別記する。

⑨施工管理

○工事現場においては、専任の監理技術者、現場代理人等であることを常に確認できる様に、胸章並びに監理技術者資格証を携帯する。  
・同一事業で同一工事区域の工事、かつ契約日から引渡しまでの期間が重複する、既発注工事の請負業者が受注した場合は、諸経費の調整を行う。

⑩下請負者の確認

各下請負者については下請業者リストにより下請負契約前（請負契約後7日以内に提出）に監督員の確認を得なければならない。下請リストに変更ある場合は再度監督員の確認を得ること。

⑪電気保安技術者

※適用する○適用しない（1.3.8）

⑫施工条件

施工時間※1.3.5（a）（1）による（1.3.5）  
・平日店舗営業中においても作業可能。ただし解体工事等音、震動が大きくなる作業に関しては、作業時間、仮設計画等監督員と協議し許可を得たうえで施工を行うこと。  
工事車輛の駐車場・図示  
資機材置場場所・図示  
○構内駐車場（監督員の許可を得たうえで利用可能）・構外  
○図示  
○構内空地（監督員の許可を得たうえで利用可能）・構外  
その他の施工条件・施設利用者動線に配慮した仮設計画とすること。

⑬交通誘導員

配置人員等（・誘導員A○誘導員B）計2人（）  
【資格】  
・交通頻繁な現道上で、の工事で交通切替または交通規制が必要な工事、または交通誘導警備検定合格者を配置することが適当と思われる工事。  
原則として交通誘導員の内1名以上／1班は交通誘導警備検定合格者（1級又は2級）を配置する。やむを得ず同合格者を配置できない場合は、警備員名簿及び教育実施状況等に関する資料により、交通誘導に関して専門的な知識及び技能を有する警備員と監督職員が認めたものについてはこの限りではない。

資格	資格要件
1. 2級交通誘導警備検定合格者	交通誘導警備に関して、公安委員会が学科及び実施試験を行い、専門的な知識・技能を有すると認めたもの。
交通誘導に関し専門的な知識及び技能を有する警備員等	・警備業法における指定講習を受講したもの。 ・警備業法における基本的基礎教育及び業務別教育（警備業法第二条第一項第二号の警備業務）を現に受けているもので、交通誘導に関する警備業務に従事した期間（実務経験年数）が1年以上であるもの。

章項目

④保安要員の配置・道路等の清掃復旧

仮設計画に基づき、車両の出入りに際しては、請負者係員又は専任の保安員が誘導して、安全を期す事。工事に関連する周辺道路は随時点検し、散水、清掃等必要な措置を行うこと。竣工後道路等に破損ある場合は、事前復旧する事。

⑤安全衛生管理

工事現場の安全衛生に関する管理は現場代理人が責任者となり、関係法令に従ってこれを行う。但し、別に責任者が定められた場合はこれに協力する。工事現場においては常に整理整頓を行い、特に危険箇所の点検を行うなど事故の防止に努める。

16統轄安全衛生管理義務者の指名

労働安全衛生法第30条第2項に基づく指名を行う。（1.3.7）

⑦火災保険、その他の保険

工事請負契約後、速やかに工事的物・工事材料及び仮設物に生じる損害の全てを補償する保険を締結すること。  
保険期間は契約工期以後（・20日※30日）を超える日数とし、受取人は発注者とする。  
保険機関：※任意・ニューコウチビル機

⑧建設業退職金共済加入証紙の貼り付

工事現場で就労する作業員に証紙を交付するよう努めること。

⑧契約保証

※金銭的保証方式・役務的保証方式

20室内空気中化学物質濃度の測定

厚生労働省の標準測定方法による測定を行い、同省で定められた基準値を下回っている事を報告書にて確認後、引渡しを行う。但し、完成検査前に報告書の提出が困難な場合は、事前に信頼のおける速報等の資料を監督員に提出する。この場合、後日速やかに正式な報告書を監督員に提出しなければならない。測定する専門業者の選定に当っては予め監督員に報告し、測定する室については監督員と協議する。  
測定方法：厚生労働省「室内空気中化学物質の室内濃度指針値及び標準的測定方法について」による。  
測定場所：（）ヶ処

測定対象化学物質	厚生労働省の指針値（25℃の場合）
・ホルムアルデヒド	0.08ppm（100μg/m3）以下
・アセトアルデヒド	0.03ppm（48μg/m3）以下
・トルエン	0.07ppm（260μg/m3）以下
・キシレン	0.20ppm（870μg/m3）以下
・エチルベンゼン	0.88ppm（3,800μg/m3）以下
・スチレン	0.05ppm（220μg/m3）以下
・パラジクロロベンゼン	0.04ppm（240μg/m3）以下

階	検名	単位：ヶ処
1		
2		
3		
4		
5		
合計		

21MSDSの提出（Material Safety Data Sheet）

以下に掲げるもの等、前項の測定項目に該当する物質を含有する可能性のある材料の選定に当たっては、事前にMSDS（製品安全データシート）を監督員に提出する。

合板	木質系フローリング	構造用パネル	集成材
単板積層材	MDF	パーティクルボード	その他の木質建材
ユリア樹脂板	壁紙	接着剤	保温材
緩衝材	塗料	仕上塗材	内部のシーリング

その他、監督員が提出を求めるもの

②養生

既存部分、施工済み部分、未使用材料等で、汚染又は損傷の恐れのあるものは、適切な方法で養生を行なう。  
内部養生に合板または構造用パネルを使用する場合、その合板または構造用パネルのホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆、またはそれと同等と認められる製品を使用する。

②3技能士

・適用しない（1.5.2）（1.5.3）  
※適用する下記各職種の○一級技能士●二級技能士  
・●とび○型枠施工・○鉄筋施工○○コンクリート圧送施工・○コンクリートフロック工事  
・○ALC・ハネル・○カーテンウォール・○アスファルト防水・○合成ゴム系シート防水  
・○FRP防水・○アクリルゴム系塗膜防水・○シーリング防水・○石工・○タイル張り  
○○建築大工・○瓦葺・○建築板金（内外装板金）・●スレート施工・○バルコニー（金属製）施工  
・○軽量鉄骨下地工事（天井・壁）○○左官・○金属製建具施工・○カラス施工  
・○木製建具加工・○フラスチック系床仕上施工○●カーベット系床仕上施工・○ホート仕上げ  
・○塗装・○表装（壁装）・○畳製作・○家具製作・○造園・○（単一）樹脂接着剤注入施工（エポキシ樹脂注入工事）  
適用する技能士について、当該資格を有することが確認できる書類（合格証明書等）及び資格者が特定できる書類（運転免許証等）の写しを（2）部提出する。  
技能士は工事作業中の常駐を原則とするが、監督員の承諾を得て巡回指導とすることができる。  
技能士の適用を受けない職種にあっても、その活用を図るよう努めなければならない。

②4工程管理

実施工程表は原則としてネットワーク工程表とし、別途契約の関連設備工事との連携、調整をはかり、関連工事が全て工事期間内に完成するよう工程管理を行うこと。

②5施工計画書

各工事の施工に先立ち工事に関する承諾書に、材料、工法、施工図、作業員名簿（技能士、その他の資格等）による施工要領等を記載した施工計画書を添えて提出し監督員の確認を得る。尚、施工計画書は各工事で行う監理検査基準になるので、本工事に適用しない内容は記載してはならない。

②6建築材料等

本工事に使用する材料のうち、特定のものが特記された場合は設計図に特定するもの、または同等以上のものとする。特記無き場合または「評価名簿による」と記載されたものは、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」によるもの又は評価の内容がこれ等と同等以上と認められるものとする。同等以上とする際は監督員の確認を得ること。

【商第07053号】 地場産業活性化交流プラザA棟外構工事			
建築意匠図		特記仕様書1	
DATE/ 2025/8/18	SCALE/	SHEET NO A-1	
（株）A S A 設計事務所			
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD TEL (098) 822-5797 (代)			
一級建築士大臣登録第196852号			
田中健一	DRAWN BY Y. 乾	CHECKED BY	

章	項 目			特 記 事 項			章	項 目			特 記 事 項																																									
1 一般 共通 事項	②	特別な材料の工法	公共建築工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、工事に関する承諾書を提出し、監督員の確認を得て、当該材料製造所の指定する工法により施工する。	3 土 工 事	1	埋戻し及び盛土	種別 ・ A 種 ※ B 種（本敷地内の根伐土に限る） ・ C 種 ・ D 種（3. 2. 3）（表 3. 2. 1） 埋戻及び盛土部分は水締めを十分行い、ランマー等で突き固めを行う。	7 防水 工 事	②	レデーミクストコンクリートの種別	※ I 類 ・ I I 類（6. 1. 5）（表 6. 1. 1）																																									
	⑧	仕上面の出隅処理	内外部とも仕上出隅で利用者の手の届く範囲（H＝2 m 内外）は、図示が無くとも原則として全て面取りを施す。 木部（家具を含む）：6 mm 程度 コンクリート・モルタル部：1 5 mm 程度 鉄部・金属部 3 mm 程度 建具類等、上記により難しい場合は監督員と協議する。		②	建設発生土の処理	※構外搬出適切処理（残土の受入証明または法令による許可証等を監督員に提出する）（3. 2. 5） ・構内指示の場所に敷均し（ ・ 及び締固め） ・構内指示の場所に堆積		③	気乾単位容積質量	※ 2. 3 t／m <sup>3</sup> 程度（6. 2. 2）																																									
	⑨	事業損失補償	地盤変動を原因とする建築物等の事業損失補償は、発注者側が定める事務要領による。 ※工事施工中及び完了後損害が発生した場合、その時点で覚書を締結する工事 ・予め覚書締結を指定する工事		3	山留め	※構造その他は、関係法令等に従い安全堅固に設置する。（3. 3. 1～3） ・仮設計画図による ・その他（構造図を参考とし詳細は請負業者側で適切施工とする） 山留めの撤去 ※撤去する ・撤去しない ・図示及び金抜き設計書による		④	コンクリートの仕上り	※部位の位置及び断面寸法の許容誤差（6. 2. 5）（表 6. 2. 2） ※表 6. 2. 2 による ・ ※仕上りの平坦さ（6. 2. 5）（表 6. 2. 4） ※ 6. 2. 4 による ・屋内の合板型枠 A 種打放し部のは原則として木コン補修のみとする。																																									
	③	竣工時の提出図書	③完成図：A S A 設計原図 1 式を現場と相違無き様に C A D 上で訂正し、二つ折製本の上（3）部提出すること。 （仕上表番番、メーカー名記入の事。施工図及び施工計画書含む） 工事名称・工期・設計事務所名・施工業者名等を表紙に文字打ちする事（背表紙は工事名称のみ） C A D データによる提出を ※適用する ・適用しない 上記を適用する場合の保存形式は、A U T O C A D ・ D R A C A D ・ J W W C A D ・ D X F の何れかによる。 提出図書の著作に係る当該建物に限る使用権は発注者に移譲する。 ④ 保全に関する資料：提出部数（2）部		④	騒音・振動の防止	低騒音型・低振動型建設機械指定要領に基づき、指定された建設機械を使用する。		⑤	セメントの種類	※普通ポルトランドセメント又は混合セメントの A 種（6. 3. 2）（6. 13. 2）（6. 16. 2） 上記普通ポルトランドセメントは、J I S R 5 2 1 0（ポルトランドセメント）に示された規定の他、次の規定に適合するものとする。 水和熱は 7 日目で 3 5 2 J／g 以下、2 8 日目で 4 0 2 J／g 以下とする。 ・高炉セメントの B 種 ・																																									
	④	完成写真	下記のをを原版とも監督員に 2 部提出する。（※カラー ・モノクローム） 各 室 手札版 ※ 2 枚 ・ 2 枚／室 外 部 キャビネ版 ※ 4 枚 ④ 1 5 枚 外 部 半切パネル ※ 1 枚 ・ 5 枚 全 域 カラースライド ・ 枚 2 4 × 3 6 以上 完成アルバムは黒表紙で、（・白台紙に印刷 ・黒台紙にビニルフィルムを張付け）したものとする。 完成写真の撮影業者は監督員の承諾する撮影業者とし、撮影箇所は監督員の指示による。 大きさは ・全紙大 ・半紙大 で、・木製枠 ・アルミ枠 ・枠無パネルとし、・3 部 ・2 部提出する。 全ての完成写真は C D 等の記憶媒体に保存したものを ※ 3 部 ④ 2 部提出する。		5	ボーリング及び打込み	ボーリング及び打込みによる地下水の一般水質・水量検査成績書を 3 部提出する。 尚、これと併せて地盤調査水位の報告書を 3 部提出する。		⑥	骨材	砂利及び砂（J I S A 5 3 0 8）のアルカリシリカ反応性による区分 ※ A ・ B（6. 3. 3） 碎石及び砕砂（J I S A 5 0 0 5）のアルカリシリカ反応性による区分 ※ A ・ B（6. 3. 3） 細骨材の塩分含有量（％／wt） ※ 0. 0 4％以下 ・																																									
	⑤	敷地測量（工事範囲測量）	工事着手に先立ち敷地測量を実施し配置計画施工図を作成する。監督員の確認後、現場位置出しを行う。 監督員は現場位置確認後、位置承認をする。尚、最終位置決定により生じる工事金額の増減は行わない。	4	① 砂利地業	材料 ※切込み砂利、切込み砕石、 ※再生クラッシュラン（直接基礎下を除く）（4. 6. 2） 厚さ ・図示 ※ 6 0（4. 6. 3）	⑥		混和材料	混和剤の種類 ※ A E 剤又は A E 減水剤標準形（J I S A 6 2 0 4）（6. 3. 5） ・高性能 A E 減水剤標準形（J I S A 6 2 0 4） ・ 混和材の種類 ※フライアッシュ（・ I 種 ・ II 種）（J I S A 6 2 0 1） ・高コンクリート用高炉スラグ微粉末（J I S A 6 2 0 6） ・膨張剤（J I S A 6 2 0 2） ・																																										
	⑥	既存道路・歩道との取合	既存道路、歩道、植樹帯、その他これ等に類する構造物の切下げ、かき上げ、移設、補修等の工事は、請負業者が官公庁の許可を受けた後施工する事。	5 鉄 筋 工 事	2	捨コンクリート地業	材料 ※ 6 章コンクリート工事 1 4 節「無筋コンクリート」による。（4. 6. 5） 発注強度 ※ 1. 6 N／mm <sup>2</sup> 以上 ・ スランブ ※ 1 5 c m ・ 1 8 c m（4. 2. 3） 厚さ ※ 6 0 ・ 5 0 ・図示		8	防錆材	・使用する 小野田ラスナイン ポゾリス N R－1 9 0 0 ※使用しない																																									
⑦	保証 その他	工事中に生じる隣地及び通行人に対するの保全及び保証は、請負人の責任において行う。 工事の施工に伴う災害及び公害の防止は、関係法令等に従い適切に処置するとともに、善良な管理者の注意をもってしても、災害又は公害の発生の恐れがある場合の措置については、監督員と協議する。	1		鉄筋の種類	各サイズ共試験成績表を 2 部提出する。（5. 2. 1）（表 5. 2. 1） <table><tr><th>規格番号</th><th>規格名称</th><th>種類の記号</th><th>径（mm）</th><th>使用ヶ処</th></tr><tr><td rowspan="7">J I S G 3 1 1 2</td><td rowspan="5">鉄筋コンクリート用 棒鋼</td><td>※ S D 2 9 5 A</td><td>※ D 1 0 ～ D 1 6</td><td>図示</td></tr><tr><td>・ S D 2 9 5 B</td><td></td><td></td></tr><tr><td>※ S D 3 4 5</td><td>※ D 1 9 ～ D 2 5</td><td>図示</td></tr><tr><td>※ S D 3 9 0</td><td>※ D 2 9</td><td></td></tr><tr><td>・ S R 2 3 5</td><td>※ φ 9</td><td></td></tr></table>	規格番号	規格名称	種類の記号	径（mm）	使用ヶ処	J I S G 3 1 1 2	鉄筋コンクリート用 棒鋼	※ S D 2 9 5 A	※ D 1 0 ～ D 1 6	図示	・ S D 2 9 5 B			※ S D 3 4 5	※ D 1 9 ～ D 2 5	図示	※ S D 3 9 0	※ D 2 9		・ S R 2 3 5	※ φ 9		⑨	打継目地及びひび割れ誘発目地	※打継目地の寸法（6. 6. 3）（6. 9. 2）（9. 6. 3） ※図示による ・ 9. 6. 3（a）（1）による ・ ※ひび割れ誘発目地の位置 ※図示による ・ ※ひび割れ誘発目地の形状及び寸法（6. 9. 2）（9. 6. 3） ※図示による ・ 9. 6. 3（a）（1）による ・ ※土間コンクリートのひび割れ防止用成形伸縮目地（ ※使用する ・使用しない ） 材質及び形状・寸法 ゴムキャップ＋ブチルゴム系 ※ 2 0 × 1 0 0 ・ 2 0 × 8 0 樹タイセイ エキスパンタイ T E 型同等品以上 ※@ 3. 0 0 0 # 内外 ・@ 図示																					
規格番号	規格名称	種類の記号	径（mm）		使用ヶ処																																															
J I S G 3 1 1 2	鉄筋コンクリート用 棒鋼	※ S D 2 9 5 A	※ D 1 0 ～ D 1 6	図示																																																
		・ S D 2 9 5 B																																																		
		※ S D 3 4 5	※ D 1 9 ～ D 2 5	図示																																																
		※ S D 3 9 0	※ D 2 9																																																	
		・ S R 2 3 5	※ φ 9																																																	
	2 8	設計図	工事に先立ち縮小版の製本（A 3 版 2 つ折）を ・ 4 部 ※ 5 部 ・ 6 部 提出する。	②	溶接金網	規格 J I S G 3 5 5 1（5. 2. 2） 網目の形状、寸法 ③@ 1 5 0 # ・ ④5 0 # ・ ⑤1 0 0 # ③重ね継手 鉄筋の径 ※ 6 φ ・ 2. 6 φ ・ 4 φ ・ 3. 2 φ 使用部位 ※保護コンクリート部 ・釘打用モルタルの勾配部 ④施工範囲の土間コンクリート	⑩	打放し仕上りの種別	※せき板の材料として合板を用いる場合（6. 2. 5）（6. 6. 6）（6. 9. 3）（表 6. 2. 3） <table><tr><th>種 別</th><th>厚 さ</th><th>型枠表面塗装の有無</th><th>施 工 箇 所</th></tr><tr><td>・ A 種</td><td>※ 1 2 ・</td><td>※有 ・無</td><td>内外部でコンクリートの表面を見出しにする合板型枠打放し仕上部</td></tr><tr><td>④ B 種</td><td>※ 1 2 ・</td><td>・有 ※無</td><td>土間コンクリート堰板</td></tr><tr><td>・ C 種</td><td>※ 1 2 ・</td><td>・有 ※無</td><td></td></tr><tr><td>・ その他</td><td>※ 1 2 ・</td><td>・有 ※無</td><td>設備ビット・天井裏等の隠蔽部</td></tr></table> ・せき板の材料として合板を用いない場合 せき板の種類 ④ 床型枠用鋼製デッキプレート（スラブの断熱材打込部・打放し部以外） せき板の厚さ ・ コンクリート面の仕上がり程度 ・模様付等の特殊な型枠と合板を併用する場合（ 特殊な型枠の程度 製造所（製品名） ビューブランニング モールドスター T S S 1 6 0 T S S 1 0 0 同等品以上 施工に先立ちピース割付施工図を提出し監督員の確認を得ること	種 別	厚 さ	型枠表面塗装の有無	施 工 箇 所	・ A 種	※ 1 2 ・	※有 ・無	内外部でコンクリートの表面を見出しにする合板型枠打放し仕上部	④ B 種	※ 1 2 ・	・有 ※無	土間コンクリート堰板	・ C 種	※ 1 2 ・	・有 ※無		・ その他	※ 1 2 ・	・有 ※無	設備ビット・天井裏等の隠蔽部																							
	種 別	厚 さ	型枠表面塗装の有無	施 工 箇 所																																																
・ A 種	※ 1 2 ・	※有 ・無	内外部でコンクリートの表面を見出しにする合板型枠打放し仕上部																																																	
④ B 種	※ 1 2 ・	・有 ※無	土間コンクリート堰板																																																	
・ C 種	※ 1 2 ・	・有 ※無																																																		
・ その他	※ 1 2 ・	・有 ※無	設備ビット・天井裏等の隠蔽部																																																	
2 9	施工図	施工図は C A D によるものとし、発注者・設計監理者及びその他の工事関係者との施工情報の交換を円滑にする。 C A D の種類は W i n d o w s 1 0 版の A U T O C A D ・ D R A C A D ・ J W W C A D の何れかを使用する。	3	鉄筋の継手	（5. 3. 4）（表 5. 3. 3～4） <table><tr><th>部 位</th><th>接合方法</th><th>径（mm）</th></tr><tr><td>柱・梁の主筋</td><td>※ガス圧接 ・特殊な鉄筋継手</td><td>D 1 9 ～ D 2 5</td></tr><tr><td>その他</td><td>※重ね継手 ・ガス圧接</td><td>φ 9 及び D 1 0 ～ D 1 6</td></tr></table> 柱及び梁の主筋の重ね継手 ※表 5. 3. 3 による 先組工法で柱及び梁の主筋の継手を同一箇所に設ける場合 ※図示 ・	部 位	接合方法	径（mm）	柱・梁の主筋	※ガス圧接 ・特殊な鉄筋継手	D 1 9 ～ D 2 5	その他	※重ね継手 ・ガス圧接	φ 9 及び D 1 0 ～ D 1 6	9	① シーリング	（9. 6. 2）（表 9. 6. 1）（22. 2. 2）（22. 3. 2） <table><tr><th>記 号</th><th>耐久性区分</th><th>主成分による区分</th><th>施 工 箇 所</th></tr><tr><td>・ S R－1</td><td>9 0 3 0 G</td><td rowspan="2">シリコーン系</td><td>硝子押え</td></tr><tr><td>・ S R－2</td><td>1 0 0 3 0</td><td></td></tr><tr><td>④ M S－2</td><td>9 0 3 0</td><td>変成シリコーン系</td><td>コンクリート目地、外部押出成形セメント板、金属、等の取合</td></tr><tr><td>・ P S－2</td><td>9 0 3 0</td><td>ポリサルファイド系</td><td>内部の タイル、石、コンクリート目地、等の取合</td></tr><tr><td>・ P U－2</td><td>8 0 2 0</td><td>ポリウレタン系</td><td>セメント押出成形板、内部押出成形セメント板、ボード類等の取合</td></tr><tr><td>・ A C－1</td><td>7 0 2 0</td><td>アクリル系</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> シーリング材の目地寸法 ※図示及び 9. 6. 3 による（9. 6. 3） 接着性能試験 ※簡易接着性能試験（9. 6. 5） ・引張接着性能試験（部位） 塩害地域の外壁のシーリングは M S－2 とする	記 号	耐久性区分	主成分による区分	施 工 箇 所	・ S R－1	9 0 3 0 G	シリコーン系	硝子押え	・ S R－2	1 0 0 3 0		④ M S－2	9 0 3 0	変成シリコーン系	コンクリート目地、外部押出成形セメント板、金属、等の取合	・ P S－2	9 0 3 0	ポリサルファイド系	内部の タイル、石、コンクリート目地、等の取合	・ P U－2	8 0 2 0	ポリウレタン系	セメント押出成形板、内部押出成形セメント板、ボード類等の取合	・ A C－1	7 0 2 0	アクリル系									
部 位	接合方法	径（mm）																																																		
柱・梁の主筋	※ガス圧接 ・特殊な鉄筋継手	D 1 9 ～ D 2 5																																																		
その他	※重ね継手 ・ガス圧接	φ 9 及び D 1 0 ～ D 1 6																																																		
記 号	耐久性区分	主成分による区分	施 工 箇 所																																																	
・ S R－1	9 0 3 0 G	シリコーン系	硝子押え																																																	
・ S R－2	1 0 0 3 0																																																			
④ M S－2	9 0 3 0	変成シリコーン系	コンクリート目地、外部押出成形セメント板、金属、等の取合																																																	
・ P S－2	9 0 3 0	ポリサルファイド系	内部の タイル、石、コンクリート目地、等の取合																																																	
・ P U－2	8 0 2 0	ポリウレタン系	セメント押出成形板、内部押出成形セメント板、ボード類等の取合																																																	
・ A C－1	7 0 2 0	アクリル系																																																		
3 0	意匠図と構造図	配筋図等が意匠図及び構造図の両方に記載ある場合はその旨を監理者に報告する。その場合は原則として構造図を優先する。形状寸法等に関しては原則として意匠図を優先する。	4	鉄筋のかぶり厚さ	※かぶり厚さは目地底から算定する。 ・塩害を受ける恐れのある部分等、耐久土不利な箇所のかぶり厚さは下記による。（5. 3. 5） <table><tr><th>施工箇所等</th><th>表 5. 3. 6 の値に加える数値（mm）</th></tr><tr><td>柱、梁、壁及び庇等の外気に接する増打面</td><td>※ 1 0 ・ 1 5 ・ 2 0 ・ 2 5 ・ 図示</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td></tr></table>	施工箇所等	表 5. 3. 6 の値に加える数値（mm）	柱、梁、壁及び庇等の外気に接する増打面	※ 1 0 ・ 1 5 ・ 2 0 ・ 2 5 ・ 図示	・	・	9	防水工事																																							
施工箇所等	表 5. 3. 6 の値に加える数値（mm）																																																			
柱、梁、壁及び庇等の外気に接する増打面	※ 1 0 ・ 1 5 ・ 2 0 ・ 2 5 ・ 図示																																																			
・	・																																																			
2 仮 設 工 事	①	監督員事務所（会議室兼用可） ※設ける（ 号、 2 0 m 程度） ④設けない（2. 3. 1） 設ける場合の仕上り程度 床：（・合板張り ・ビニル床シート張り） 壁：（・合板張り ・石膏ボードに塗装または壁紙を張ったもの） 天井：（・合板張り ・化粧石膏ボード張り） 休憩室（たたみ敷き） ※設けない ・設ける（ m 程度） ※設置備品：机 椅子 広巾テーブル 見本棚 寒暖計 電話 F A X（電話と別） 冷暖房設備 安全帯 ゴム長靴 安全靴 かっぱ ヘルメット 軍手 ノギス マイクロメーター 磁石 ばか棒 懐中電燈、その他 各数量については監督員の指示による。	6 コ ン ク リ ー ト 工 事	①	設計基準強度	普通コンクリート（6. 1. 4） <table><tr><th>設計基準強度 F c（N／mm<sup>2</sup>）</th><th>スランブ（c m）</th><th>適 用 箇 所</th></tr><tr><td>※ 2 4</td><td>※ 1 8 ・ 1 5</td><td>図示</td></tr><tr><td>・ 2 1</td><td>※ 1 8 ・ 1 5</td><td>図示</td></tr><tr><td>④ 1 8</td><td>※ 1 8 ④ 8</td><td>図示</td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> 軽量コンクリート（6. 1. 4） <table><tr><th>設計基準強度 F c（N／mm<sup>2</sup>）</th><th>スランブ（c m）</th><th>適 用 箇 所</th></tr><tr><td>・ 2 1</td><td>※ 1 8 ・</td><td></td></tr><tr><td>※ 1 8</td><td>※ 1 5 ・</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>	設計基準強度 F c（N／mm <sup>2</sup> ）	スランブ（c m）	適 用 箇 所	※ 2 4	※ 1 8 ・ 1 5	図示	・ 2 1	※ 1 8 ・ 1 5	図示	④ 1 8	※ 1 8 ④ 8	図示	・			設計基準強度 F c（N／mm <sup>2</sup> ）	スランブ（c m）	適 用 箇 所	・ 2 1	※ 1 8 ・		※ 1 8	※ 1 5 ・					【商第 0 7 0 5 3 号】 地場産業活性化交流プラザ A 棟外構工事																		
設計基準強度 F c（N／mm <sup>2</sup> ）	スランブ（c m）	適 用 箇 所																																																		
※ 2 4	※ 1 8 ・ 1 5	図示																																																		
・ 2 1	※ 1 8 ・ 1 5	図示																																																		
④ 1 8	※ 1 8 ④ 8	図示																																																		
・																																																				
設計基準強度 F c（N／mm <sup>2</sup> ）	スランブ（c m）	適 用 箇 所																																																		
・ 2 1	※ 1 8 ・																																																			
※ 1 8	※ 1 5 ・																																																			
②	通信	・電話 ・ F A X（電話と別） ・携帯式親子電話 ④携帯電話 ④パソコン及びレーザーショット等周辺機器一式（ I n e t に接続し C A D データ、デジカメデータ等の電子メール通信が可能なもの）、O S は W i n d o w s 1 0 以上とし、E x c e l ・ W o r d その他の汎用アプリケーションをインストールしたもの。	⑤	特記無き場合の土間等の配筋	土間、側溝、大走り、階段、会所、体育館床下土間等の配筋で特記無き場合は、縦横共 D 1 0 @ 2 0 0 シングルとする。	建築意匠図 特記仕様書 2																																														
③	工事用水・電力	構内既存の施設（用水） ④利用できる ④有償 ・無償 ※利用できない（ ） 構内既存の施設（電力） ④利用できる ④有償 ・無償 ※利用できない（ ）	6	コンクリート工事		DATE/ 2025/9 SCALE/ SHEET NO A－2																																														
④	仮囲い（解体後）	※ 行 行わない 場所図示 程度（・成形鋼板（全面） ・波型亜鉛鉄板 ・有刺鉄線 ・シート張り ④防護フェンス（樹脂） ・H＝ m）	①	設計基準強度	普通コンクリート（6. 1. 4） <table><tr><th>設計基準強度 F c（N／mm<sup>2</sup>）</th><th>スランブ（c m）</th><th>適 用 箇 所</th></tr><tr><td>※ 2 4</td><td>※ 1 8 ・ 1 5</td><td>図示</td></tr><tr><td>・ 2 1</td><td>※ 1 8 ・ 1 5</td><td>図示</td></tr><tr><td>④ 1 8</td><td>※ 1 8 ④ 8</td><td>図示</td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> 軽量コンクリート（6. 1. 4） <table><tr><th>設計基準強度 F c（N／mm<sup>2</sup>）</th><th>スランブ（c m）</th><th>適 用 箇 所</th></tr><tr><td>・ 2 1</td><td>※ 1 8 ・</td><td></td></tr><tr><td>※ 1 8</td><td>※ 1 5 ・</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>	設計基準強度 F c（N／mm <sup>2</sup> ）	スランブ（c m）	適 用 箇 所	※ 2 4	※ 1 8 ・ 1 5	図示	・ 2 1	※ 1 8 ・ 1 5	図示	④ 1 8	※ 1 8 ④ 8	図示	・			設計基準強度 F c（N／mm <sup>2</sup> ）	スランブ（c m）	適 用 箇 所	・ 2 1	※ 1 8 ・		※ 1 8	※ 1 5 ・					（株） A S A 設 計 事 務 所																			
設計基準強度 F c（N／mm <sup>2</sup> ）	スランブ（c m）	適 用 箇 所																																																		
※ 2 4	※ 1 8 ・ 1 5	図示																																																		
・ 2 1	※ 1 8 ・ 1 5	図示																																																		
④ 1 8	※ 1 8 ④ 8	図示																																																		
・																																																				
設計基準強度 F c（N／mm <sup>2</sup> ）	スランブ（c m）	適 用 箇 所																																																		
・ 2 1	※ 1 8 ・																																																			
※ 1 8	※ 1 5 ・																																																			
5	内外足場	本工事に関係ある部分で別契約の関係請負者が利用できるものは無償で提供する。（2. 2. 4） 外部足場の養生（・グリーンネット ・メッシュシート ・養生シート ・防音シート ・防音パネル）	①	設計基準強度	普通コンクリート（6. 1. 4） <table><tr><th>設計基準強度 F c（N／mm<sup>2</sup>）</th><th>スランブ（c m）</th><th>適 用 箇 所</th></tr><tr><td>※ 2 4</td><td>※ 1 8 ・ 1 5</td><td>図示</td></tr><tr><td>・ 2 1</td><td>※ 1 8 ・ 1 5</td><td>図示</td></tr><tr><td>④ 1 8</td><td>※ 1 8 ④ 8</td><td>図示</td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> 軽量コンクリート（6. 1. 4） <table><tr><th>設計基準強度 F c（N／mm<sup>2</sup>）</th><th>スランブ（c m）</th><th>適 用 箇 所</th></tr><tr><td>・ 2 1</td><td>※ 1 8 ・</td><td></td></tr><tr><td>※ 1 8</td><td>※ 1 5 ・</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>	設計基準強度 F c（N／mm <sup>2</sup> ）	スランブ（c m）	適 用 箇 所	※ 2 4	※ 1 8 ・ 1 5	図示	・ 2 1	※ 1 8 ・ 1 5	図示	④ 1 8	※ 1 8 ④ 8	図示	・			設計基準強度 F c（N／mm <sup>2</sup> ）	スランブ（c m）	適 用 箇 所	・ 2 1	※ 1 8 ・		※ 1 8	※ 1 5 ・					ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD TEL (088) 822-5797 (代)																			
設計基準強度 F c（N／mm <sup>2</sup> ）	スランブ（c m）	適 用 箇 所																																																		
※ 2 4	※ 1 8 ・ 1 5	図示																																																		
・ 2 1	※ 1 8 ・ 1 5	図示																																																		
④ 1 8	※ 1 8 ④ 8	図示																																																		
・																																																				
設計基準強度 F c（N／mm <sup>2</sup> ）	スランブ（c m）	適 用 箇 所																																																		
・ 2 1	※ 1 8 ・																																																			
※ 1 8	※ 1 5 ・																																																			
⑥	現場表示板	※設ける（2. 3. 1）	①	設計基準強度	普通コンクリート（6. 1. 4） <table><tr><th>設計基準強度 F c（N／mm<sup>2</sup>）</th><th>スランブ（c m）</th><th>適 用 箇 所</th></tr><tr><td>※ 2 4</td><td>※ 1 8 ・ 1 5</td><td>図示</td></tr><tr><td>・ 2 1</td><td>※ 1 8 ・ 1 5</td><td>図示</td></tr><tr><td>④ 1 8</td><td>※ 1 8 ④ 8</td><td>図示</td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> 軽量コンクリート（6. 1. 4） <table><tr><th>設計基準強度 F c（N／mm<sup>2</sup>）</th><th>スランブ（c m）</th><th>適 用 箇 所</th></tr><tr><td>・ 2 1</td><td>※ 1 8 ・</td><td></td></tr><tr><td>※ 1 8</td><td>※ 1 5 ・</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>	設計基準強度 F c（N／mm <sup>2</sup> ）	スランブ（c m）	適 用 箇 所	※ 2 4	※ 1 8 ・ 1 5	図示	・ 2 1	※ 1 8 ・ 1 5	図示	④ 1 8	※ 1 8 ④ 8	図示	・			設計基準強度 F c（N／mm <sup>2</sup> ）	スランブ（c m）	適 用 箇 所	・ 2 1	※ 1 8 ・		※ 1 8	※ 1 5 ・					一級建築士大匠登録第 1 9 6 8 5 2 号																			
設計基準強度 F c（N／mm <sup>2</sup> ）	スランブ（c m）	適 用 箇 所																																																		
※ 2 4	※ 1 8 ・ 1 5	図示																																																		
・ 2 1	※ 1 8 ・ 1 5	図示																																																		
④ 1 8	※ 1 8 ④ 8	図示																																																		
・																																																				
設計基準強度 F c（N／mm <sup>2</sup> ）	スランブ（c m）	適 用 箇 所																																																		
・ 2 1	※ 1 8 ・																																																			
※ 1 8	※ 1 5 ・																																																			
7	整地・跡片付	※原形の復旧 ・良土 ・砂又は砂利 にて設計地盤まで盛土整地する。範囲（舗装部以外） 厚さ（ 0. 1 m）（2. 4. 1）	①	設計基準強度	普通コンクリート（6. 1. 4） <table><tr><th>設計基準強度 F c（N／mm<sup>2</sup>）</th><th>スランブ（c m）</th><th>適 用 箇 所</th></tr><tr><td>※ 2 4</td><td>※ 1 8 ・ 1 5</td><td>図示</td></tr><tr><td>・ 2 1</td><td>※ 1 8 ・ 1 5</td><td>図示</td></tr><tr><td>④ 1 8</td><td>※ 1 8 ④ 8</td><td>図示</td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> 軽量コンクリート（6. 1. 4） <table><tr><th>設計基準強度 F c（N／mm<sup>2</sup>）</th><th>スランブ（c m）</th><th>適 用 箇 所</th></tr><tr><td>・ 2 1</td><td>※ 1 8 ・</td><td></td></tr><tr><td>※ 1 8</td><td>※ 1 5 ・</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>	設計基準強度 F c（N／mm <sup>2</sup> ）	スランブ（c m）	適 用 箇 所	※ 2 4	※ 1 8 ・ 1 5	図示	・ 2 1	※ 1 8 ・ 1 5	図示	④ 1 8	※ 1 8 ④ 8	図示	・			設計基準強度 F c（N／mm <sup>2</sup> ）	スランブ（c m）	適 用 箇 所	・ 2 1	※ 1 8 ・		※ 1 8	※ 1 5 ・					田 中 健 一																			
設計基準強度 F c（N／mm <sup>2</sup> ）	スランブ（c m）	適 用 箇 所																																																		
※ 2 4	※ 1 8 ・ 1 5	図示																																																		
・ 2 1	※ 1 8 ・ 1 5	図示																																																		
④ 1 8	※ 1 8 ④ 8	図示																																																		
・																																																				
設計基準強度 F c（N／mm <sup>2</sup> ）	スランブ（c m）	適 用 箇 所																																																		
・ 2 1	※ 1 8 ・																																																			
※ 1 8	※ 1 5 ・																																																			
			①	設計基準強度	普通コンクリート（6. 1. 4） <table><tr><th>設計基準強度 F c（N／mm<sup>2</sup>）</th><th>スランブ（c m）</th><th>適 用 箇 所</th></tr><tr><td>※ 2 4</td><td>※ 1 8 ・ 1 5</td><td>図示</td></tr><tr><td>・ 2 1</td><td>※ 1 8 ・ 1 5</td><td>図示</td></tr><tr><td>④ 1 8</td><td>※ 1 8 ④ 8</td><td>図示</td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> 軽量コンクリート（6. 1. 4） <table><tr><th>設計基準強度 F c（N／mm<sup>2</sup>）</th><th>スランブ（c m）</th><th>適 用 箇 所</th></tr><tr><td>・ 2 1</td><td>※ 1 8 ・</td><td></td></tr><tr><td>※ 1 8</td><td>※ 1 5 ・</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>	設計基準強度 F c（N／mm <sup>2</sup> ）	スランブ（c m）	適 用 箇 所	※ 2 4	※ 1 8 ・ 1 5	図示	・ 2 1	※ 1 8 ・ 1 5	図示	④ 1 8	※ 1 8 ④ 8	図示	・			設計基準強度 F c（N／mm <sup>2</sup> ）	スランブ（c m）	適 用 箇 所	・ 2 1	※ 1 8 ・		※ 1 8	※ 1 5 ・					DRAWN BY Y. 乾																			
設計基準強度 F c（N／mm <sup>2</sup> ）	スランブ（c m）	適 用 箇 所																																																		
※ 2 4	※ 1 8 ・ 1 5	図示																																																		
・ 2 1	※ 1 8 ・ 1 5	図示																																																		
④ 1 8	※ 1 8 ④ 8	図示																																																		
・																																																				
設計基準強度 F c（N／mm <sup>2</sup> ）	スランブ（c m）	適 用 箇 所																																																		
・ 2 1	※ 1 8 ・																																																			
※ 1 8	※ 1 5 ・																																																			
			①	設計基準強度	普通コンクリート（6. 1. 4） <table><tr><th>設計基準強度 F c（N／mm<sup>2</sup>）</th><th>スランブ（c m）</th><th>適 用 箇 所</th></tr><tr><td>※ 2 4</td><td>※ 1 8 ・ 1 5</td><td>図示</td></tr><tr><td>・ 2 1</td><td>※ 1 8 ・ 1 5</td><td>図示</td></tr><tr><td>④ 1 8</td><td>※ 1 8 ④ 8</td><td>図示</td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> 軽量コンクリート（6. 1. 4） <table><tr><th>設計基準強度 F c（N／mm<sup>2</sup>）</th><th>スランブ（c m）</th><th>適 用 箇 所</th></tr><tr><td>・ 2 1</td><td>※ 1 8 ・</td><td></td></tr><tr><td>※ 1 8</td><td>※ 1 5 ・</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>	設計基準強度 F c（N／mm <sup>2</sup> ）	スランブ（c m）	適 用 箇 所	※ 2 4	※ 1 8 ・ 1 5	図示	・ 2 1	※ 1 8 ・ 1 5	図示	④ 1 8	※ 1 8 ④ 8	図示	・			設計基準強度 F c（N／mm <sup>2</sup> ）	スランブ（c m）	適 用 箇 所	・ 2 1	※ 1 8 ・		※ 1 8	※ 1 5 ・					CHECKED BY																			
設計基準強度 F c（N／mm <sup>2</sup> ）	スランブ（c m）	適 用 箇 所																																																		
※ 2 4	※ 1 8 ・ 1 5	図示																																																		
・ 2 1	※ 1 8 ・ 1 5	図示																																																		
④ 1 8	※ 1 8 ④ 8	図示																																																		
・																																																				
設計基準強度 F c（N／mm <sup>2</sup> ）	スランブ（c m）	適 用 箇 所																																																		
・ 2 1	※ 1 8 ・																																																			
※ 1 8	※ 1 5 ・																																																			

[illegible]

章		項 目		解 体 工 事 仕 様		章		項 目		解 体 工 事 仕 様	
1 一 般 共 通 事 項	①	共通仕様	1）図面及び特記事項に記載されていない事項は、全て国土交通大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書・同解説（令和４年版）」（以下「解体共通仕様書」という。）により、解体共通仕様書に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（令和４年版）」（以下「標準仕様書」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（令和４年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）並びに工事請負契約書による。 2）電気設備改修工事及び機械設備改修工事を本工事に含む場合は、それぞれの解体共通仕様書を適用する。 3）解体工事特記仕様に記載なき項目は「建築工事仕様」に準ずる。				②	安全対策	・電灯等は（・本工事　・別途設備工事）で撤去する。 ○解体作業中は適切に散水等を行ない、粉塵の飛散防止に努める。 ○施工について 1．原則として日曜・祝日は工事を行わない。 2．周辺道路での車輛の待機は行なわない。 3．資機材・廃棄物の搬入出は交通ラッシュ時には行なわない。 4．工事作業者の車輛の駐車場　※工事敷地内　・その他（場所　近隣の適切地　） ・記録図等について  ○安全対策 1．工事中は保安要員を配置し、万全の安全を確保する。 2．進入道路では徐行し、安全を確保する。 3．工事関係車輛及び作業者の車輛は、周辺道路での路上駐車は行なわない。  ※　前項は元請業者は基より、下請業者他全工事関係に周知徹底させること。		
	②	適用基準等	以下の何れも最新版とする。 ※建築工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編） ※建設副産物適正処理推進要綱 ※敷地調査共通仕様書 ※建築材料等評価名簿 ※工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編								
	③	電気保安技術者	※適用する　○適用しない								
	④	施工条件	施工時間　※指定無し　・指定有り（□日曜及び祝祭日以外　□日曜以外） ○指定有り（発注者との協議による） 部位別の施工順序　※指定無し　・指定有り								
	⑤	発生材の処理	・引き渡しを要するもの（ ・特別管理産業廃棄物（廃油・着色石綿スレート・パライトモルタル４０t　処理方法：関係法令に従い適切処理） 但し、廃油は残量が存在する場合に限る。 ・現場再利用を図るもの（ ○再資源化を図るもの ○コンクリート塊　・アスファルトコンクリート塊　○建設発生木材 ・管理型の産業廃棄物（下記以外は関係法令等に従い適切に処理） ・廃石膏ボード ・ＰＣＢ含有シーリング材の処理 ・第一次判定 現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判断する。 採取箇所数　計　箇所 採取場所　※図示 ・第二次判定 専門分析機関にてＰＣＢ含有量の分析を行う。 分析箇所　計　箇所 ・除去処理工事 除去範囲　※図示								
⑥	技能士	職業能力開発促進法による資格を有する技能士（とび等）の活用を図る様に務め、当該職種作業中は原則として現場に常駐すること。技能士の名簿は現場事務所に備え付け、工事引き渡し時に監督員に提出する。									
2 仮 設 工 事	①	騒音・粉塵等の対策	騒音・粉塵等の対策　※防音パネル　・防音シート　○養生シート 設置範囲　※図示								
	1	杭の解体	杭の解体　・行う　※行わない（但し、柱脚ベース底までは行う） 杭の解体方法　・引抜き工法　・破砕による解体 杭の解体を行わない場合は、工事の進捗に併せて既存杭の位置・径・天端レベルを記載した「既存杭配置図」を作成すること。								
	2	樹木等	樹木の伐採及び伐根　※行う（但し斜面地樹木の伐根は行わない）　・行わない								
	③	地下埋設物・埋設配管	※地下埋設物・埋設配管は無いものとされているが出現の場合は監督職員の指示による。 地下埋設物・埋設配管　・行う　・行わない 給排水埋設配管の端末処理　・行う　・行わない								
3 解 体 施 工	④	整地・埋戻し及び盛土	解体後の埋戻し及び盛土 ※　行う 整地高さ　※現状ＧＬ　・図示 埋戻し及び盛土の材料 ・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・各部現状復旧 ・建設汚泥から再生した処理土または土工用水砕スラグ〔Ｇ〕 ・基礎解体に際する掘削時には基礎以外の土を乱さない（必要範囲以上は掘らない）こと。 ・埋戻し要領は標準仕様書に準ずる。 ○　行わない								
	①	解体工事	○工事は分別解体とし、工事範囲内にあるものは設計図の要領で解体撤去処分する。 ○解体機器は圧搾機を主体とし、振動・騒音等の発生防止に努める。 ○解体作業中は（○騒音計　・振動計）を設置し記録する。（測定位置は別途協議による。） ○建設工事に係る資材の再資源化に関する法律、その他関係法令による他、工事に伴い発生する廃棄物は選別を行ない、リサイクル等再資源化に努める。 ・硝子建具は躯体解体工事に先立って取外し、建具枠（鉄・アルミ）と硝子に区分して処理する。 ・浄化槽又は汲み取り便槽の解体を含む場合には、残汚泥又は尿の汲取り及び清掃・消毒は本工事に含む。 ○車輛の出入において、道路を泥等で汚さないこと。また、道路の清掃に努めること。 ○廃材搬出車輛には飛散防止シートを被せて運行する。								
4 補 足	①	解体工事	○工事は分別解体とし、工事範囲内にあるものは設計図の要領で解体撤去処分する。 ○解体機器は圧搾機を主体とし、振動・騒音等の発生防止に努める。 ○解体作業中は（○騒音計　・振動計）を設置し記録する。（測定位置は別途協議による。） ○建設工事に係る資材の再資源化に関する法律、その他関係法令による他、工事に伴い発生する廃棄物は選別を行ない、リサイクル等再資源化に努める。 ・硝子建具は躯体解体工事に先立って取外し、建具枠（鉄・アルミ）と硝子に区分して処理する。 ・浄化槽又は汲み取り便槽の解体を含む場合には、残汚泥又は尿の汲取り及び清掃・消毒は本工事に含む。 ○車輛の出入において、道路を泥等で汚さないこと。また、道路の清掃に努めること。 ○廃材搬出車輛には飛散防止シートを被せて運行する。								

【商第07053号】  
地場産業活性化交流プラザA棟外構工事

建築意匠図

解体工事　特記仕様書

DATE/　2025/9

SCALE/

SHEET NO　A－4

(株) A S A 設 計 事 務 所

ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD

TEL (088) 822-5797 (代)

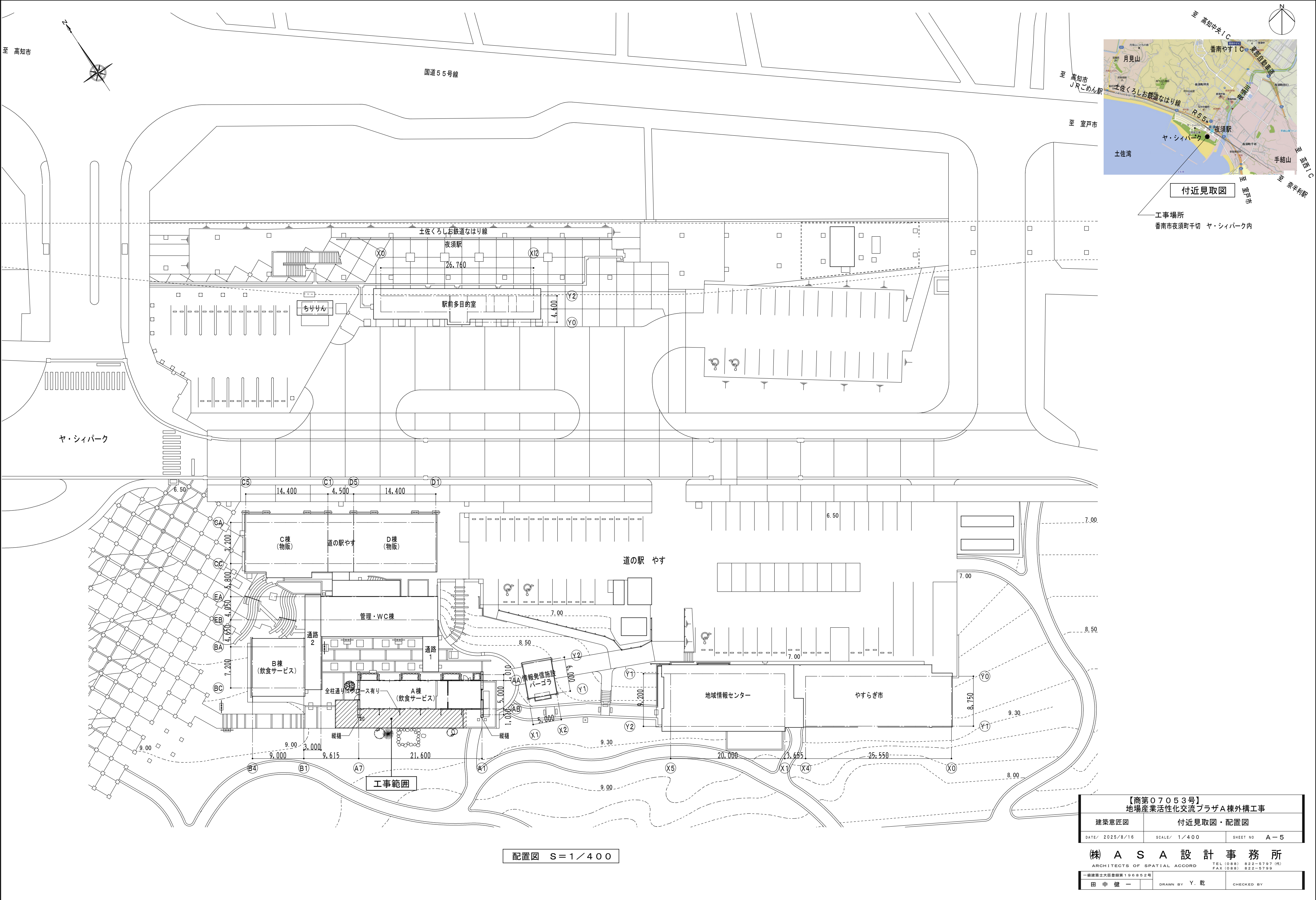
一級建築士大臣登録第196852号

田　中　健　一

DRAWN BY　Y. 乾

CHECKED BY



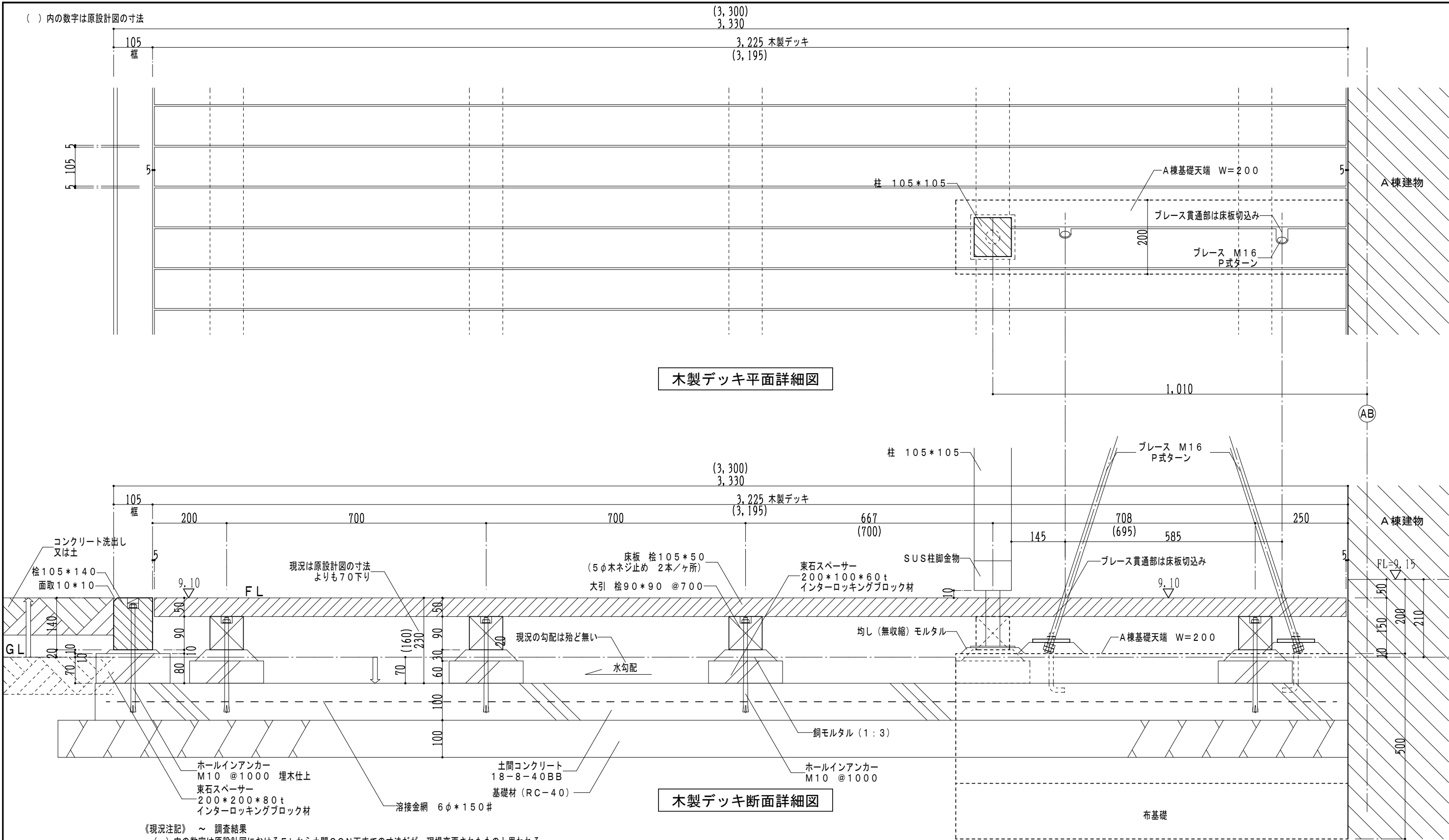


工事場所  
香南市夜須町千切 ヤ・シイパーク内

配置図 S = 1 / 4 0 0

【商第07053号】 地場産業活性化交流プラザA棟外構工事		
建築意匠図	付近見取図・配置図	
DATE/ 2025/8/16	SCALE/ 1/400	SHEET NO A-5
(株) A S A 設 計 事 務 所		
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD		
TEL (088) 822-5797 (代)		
FAX (088) 822-5799		
一級建築士大匠登録第196852号	DRAWN BY Y. 乾	CHECKED BY

( ) 内の数字は原設計図の寸法



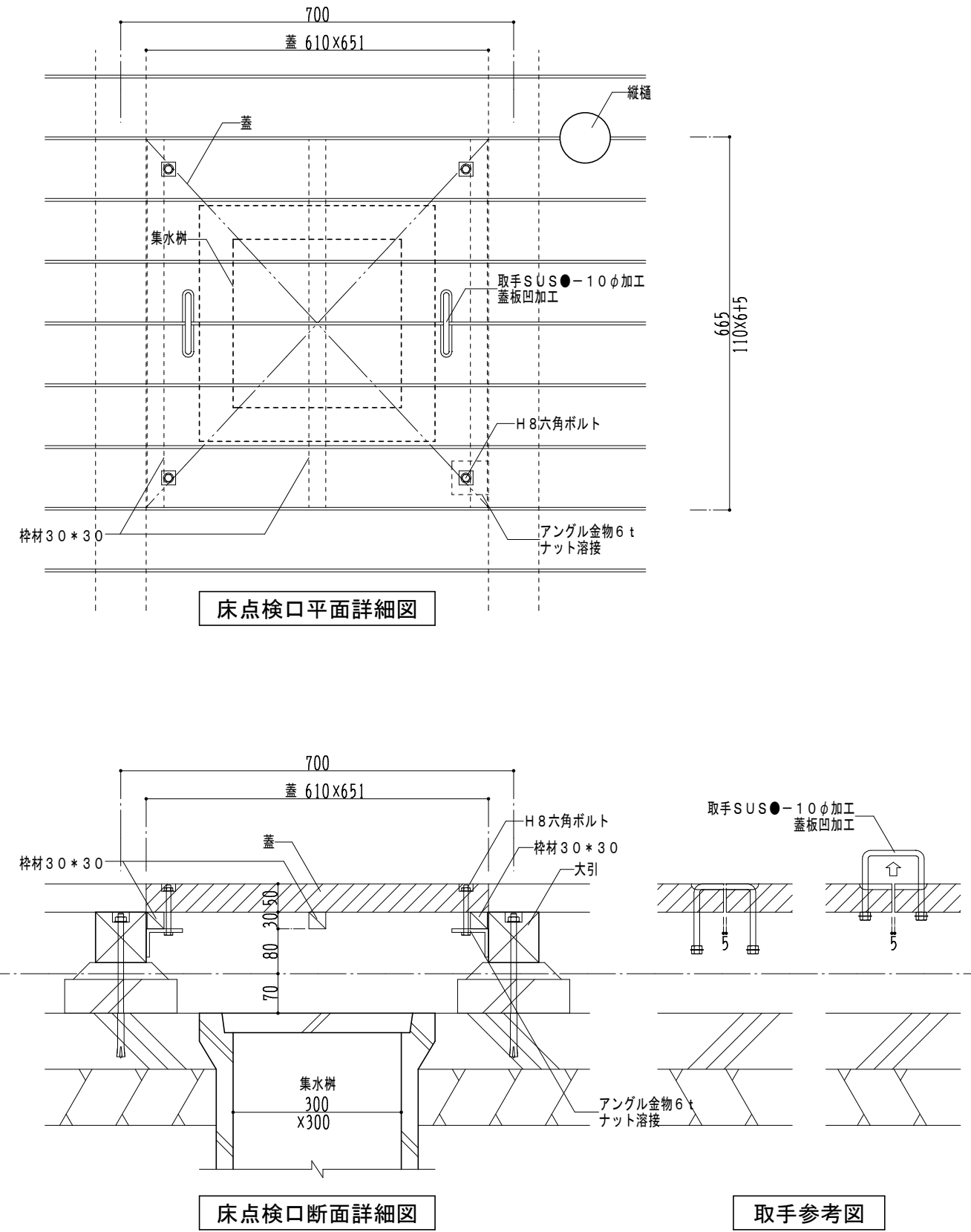
木製デッキ平面詳細図

木製デッキ断面詳細図

《現況注記》 ～ 調査結果  
・ ( ) 内の数字は原設計図におけるFLから土間CON天までの寸法だが、現場変更されたものと思われる。  
・ デッキ下の排水は全体の廻りから推測すると、割石が置かれた集水スペースへ集め、浸透させる意図が読み取れるが、現況は上図のとおり概ね全域が230～225となっており、原設計図で記載の「水勾配」は殆んど確保されていないと判断。土間CONレベルを下げたことによる大引との隙間は、インターロッキングブロックを東石代わりしている様子で、形状の異なるH=80・60の2種類が確認されたが、どの様に使い分けしているかは不明。なお、原設計図には土間勾配やデッキ以外の周辺仕上との取合い図は見当たらない。  
・ 原設計図ではGLレベルが土の天端（点線）になっているが、現況は上図のとおりFLレベルにコンクリート流出し又は土が取合っている。つまり框材の側面は常にコンクリート又は土に接している。  
・ 防腐処理木材と云えども、築後20年超を経過すると一定程度の経年劣化は避けられないが、著しい腐れの要因は上記によるものと推測する。したがって、現況を復元する改修は早晚同様の腐れが発生すると予想。

《木製デッキ共通》 ～ 原設計図  
・ 木材は仕上り寸法で表示している。  
・ 木材は高知県産（特等・防腐処理済み）とし、表面はプレーナー掛、各出隅は面取仕上とする。  
・ ボルト・ナット・木ネジ類は熔融亜鉛メッキ（HDZ35）仕上とする。  
・ 点検口は集水桝位置により決定し、大引ピッチと整合しない場合は別に受桝を施すこと。  
また、種よけ加工を施すこと。  
・ A棟建物との取合い部分に関しては、目地を設けること。

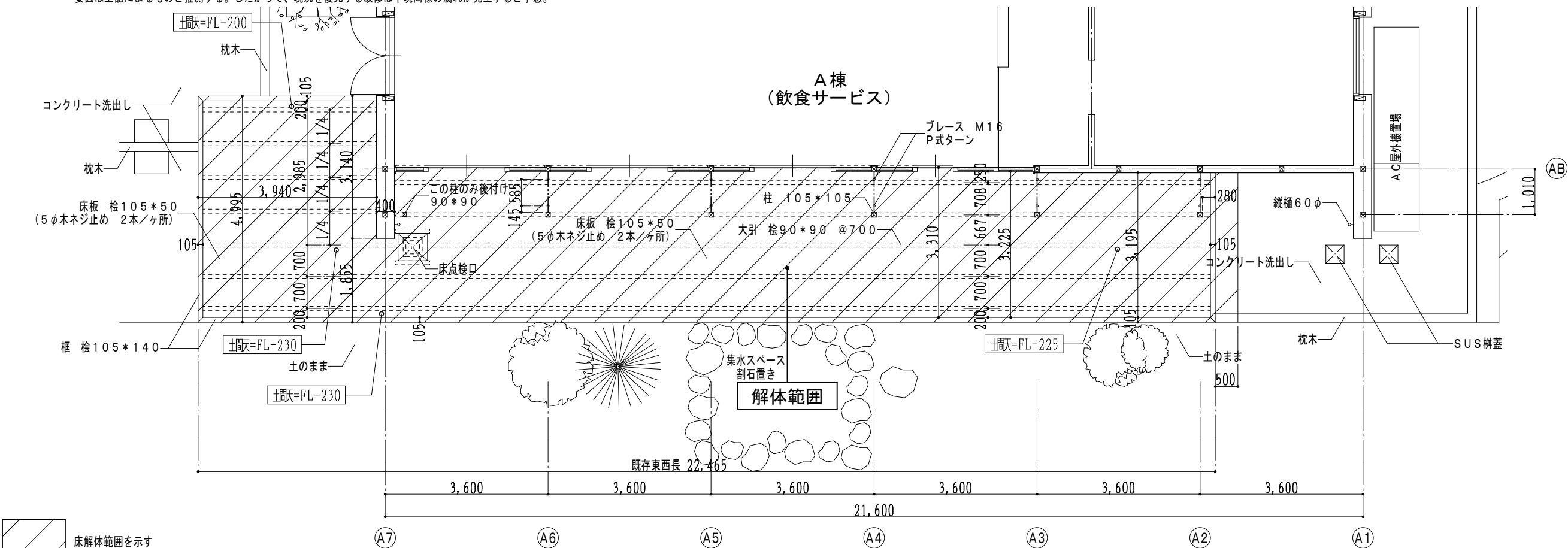
《解体撤去》  
・ 既存木製デッキ類（金物含む）は、全て解体撤去、運搬、処分とする。  
・ 部分的な土間CONの解体は別図参照。



床点検口平面詳細図

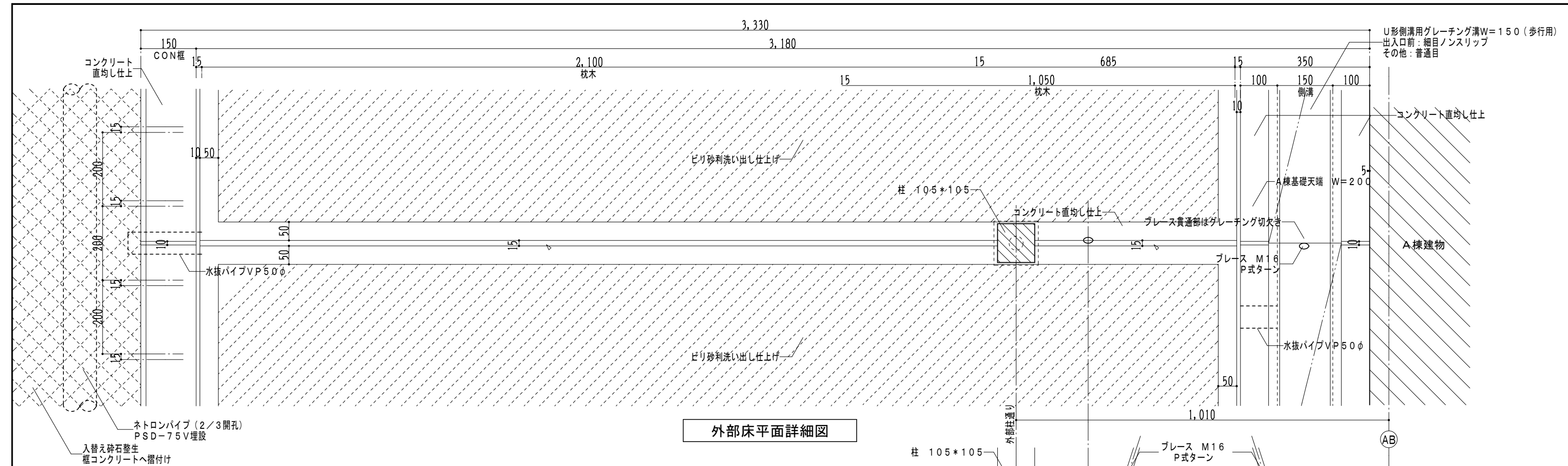
床点検口断面詳細図

取手参考図

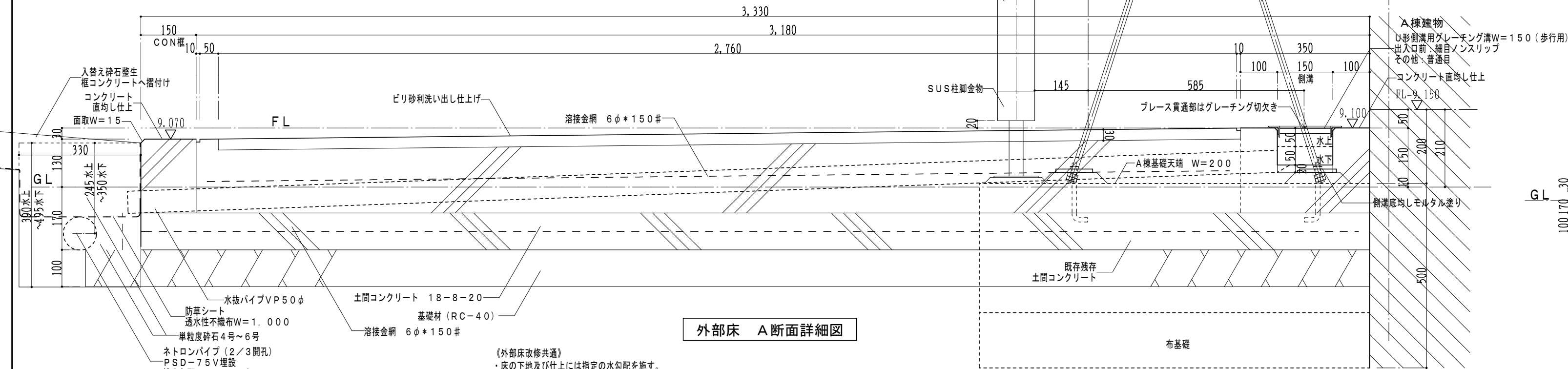


木製デッキ平面図 S=1/100

【商第07053号】 地場産業活性化交流プラザA棟外構工事		
建築意匠図	木製デッキ詳細図（改修前）	
DATE/ 2025/9	SCALE/ 特記無き図は1/10	SHEET NO A-6
株式会社ASA設計事務所		
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD		
TEL (088) 822-5797 (代)		
FAX (088) 822-5799		
一級建築士大正登録第196852号	DRAWN BY Y. 乾	CHECKED BY
田中健一		

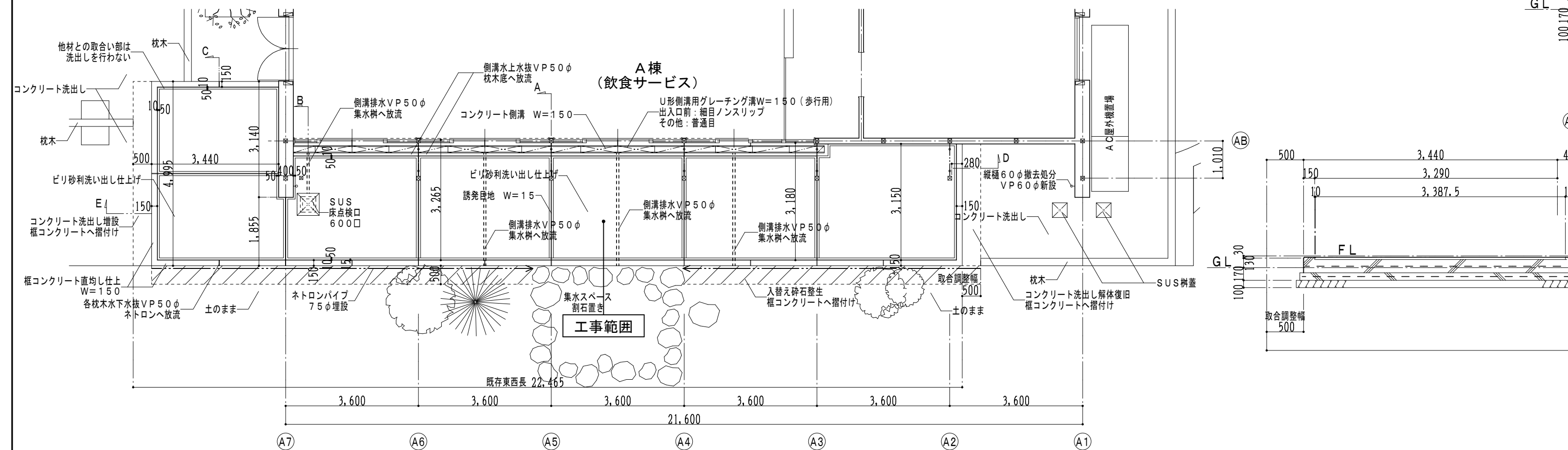


外部床平面詳細図

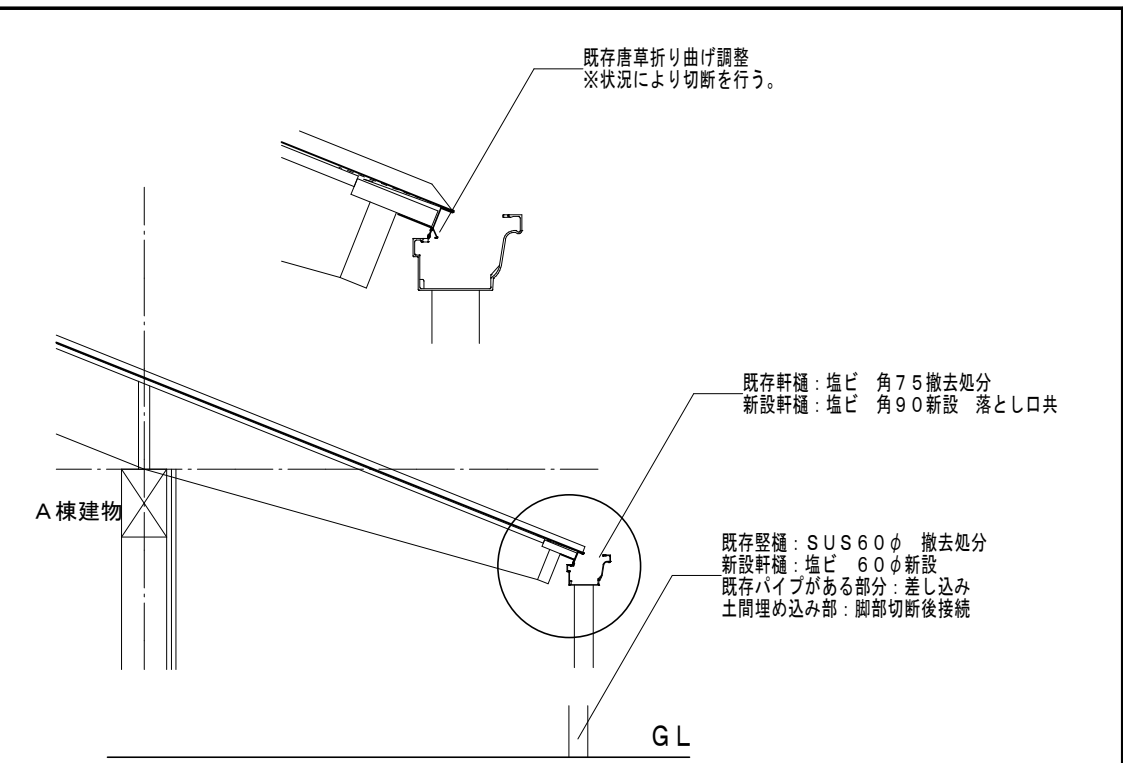


外部床 A断面詳細図

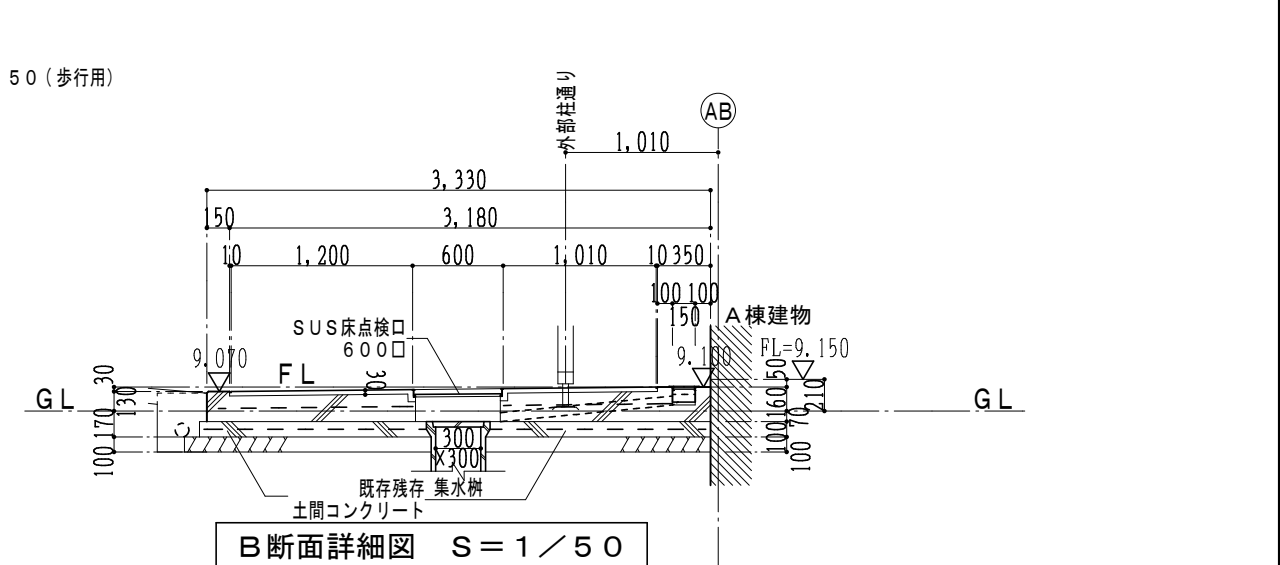
- 《外部床改修共通》
- 床の下地及び仕上には指定の水勾配を施す。
  - 粗砂洗い出しは左官で見本品を製し、防滑性、撥水による安全性を確認後に施工する。
  - 枠コンクリートに据付けるコンクリート流出しの取合いは、W=10の目地を入れる。
- 《軒樋改修共通》
- 既存軒樋（南側のみ）を撤去処分し塩ビにて新設を行う。
  - 同様に既存堅樋も撤去新設を行う。



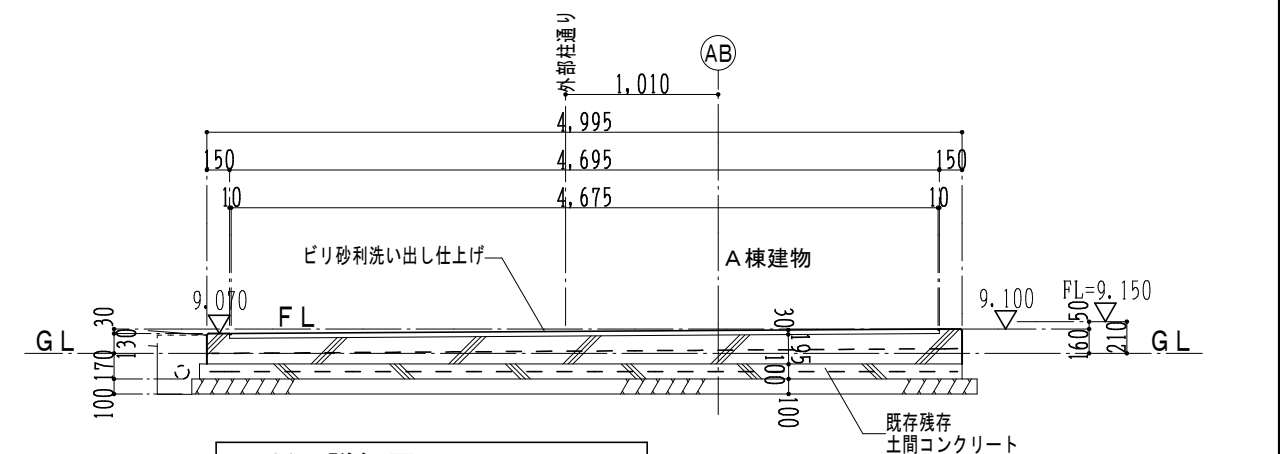
外部床改修後平面図 S=1/100



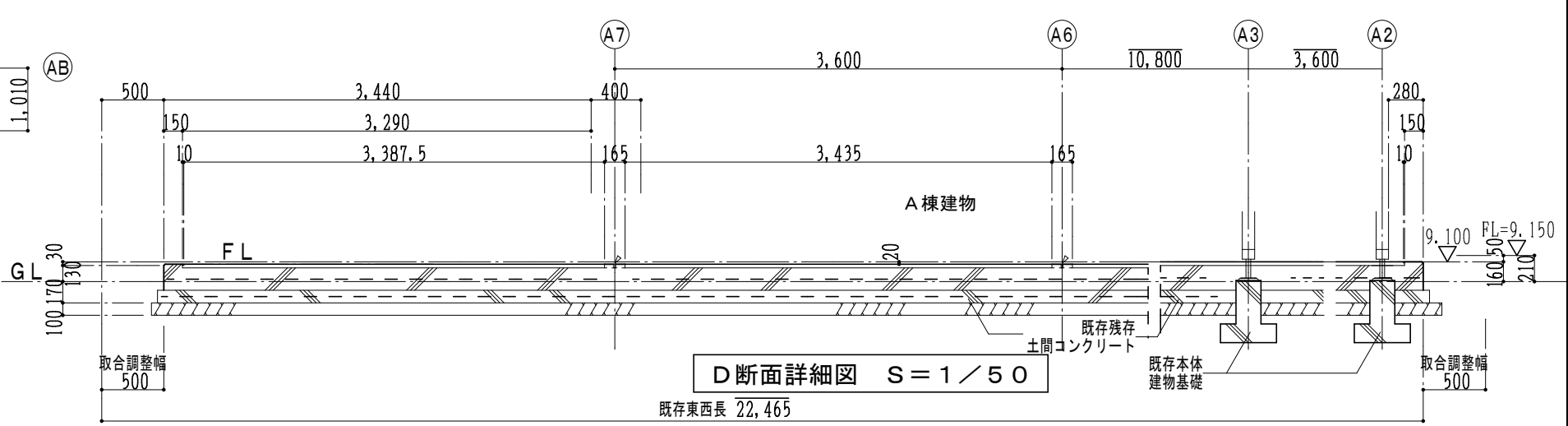
軒樋詳細図 S=1/20



B断面詳細図 S=1/50



C断面詳細図 S=1/50



D断面詳細図 S=1/50

【商第07053号】  
地場産業活性化交流プラザA棟外構工事

建築意匠図	外部床詳細図（改修後）
DATE/ 2025/9	SCALE/ 特記無き図は1/10
SHEET NO	A-7

（株）ASA設計事務所  
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD  
TEL (088) 822-5797 (代)  
FAX (088) 822-5799

一級建築士大匠登録第196852号	田中健一	DRAWN BY Y. 乾	CHECKED BY
-------------------	------	---------------	------------



